



本号よりデザインを一新いたしました。



全国32か所の拠点をつなぎ、全国各地で参拝いただいております。



「第40回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」(令和2年9月18日)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、インターネットにてライブ配信された法要に参拝

教区としては厳しい現状を踏まえ、6月に臨時教区会を開催し、可能な範囲内で寺院への支援を目的として、寺院支援策を講じることが確認され、10月8日に開催いたしました臨時教区会にて『新型コロナウイルス感染症拡大に伴う寺院支援策「寺院教化助成金」が協議の上、可決されました。つきましては、助成金交付に向け、迅速な対応をさせていただき所存でございます。



教務所長

教区役職者の任期満了に伴い、

本年度から新体制にて教区運営を行うにあたり、各組よりご尽力賜る方々を選出いただきました。しかしながら、新体制は整った

ものの昨年度末から新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、各種会議及び研修会が中止や延期となり、教区、組並びに寺院の教化活動や法務の減少等により運営が極めて困難な状況となっております。

もりた じゅんしょう
森田 順照

また、全国各地では、豪雨並びに台風による甚大な被害が発生し、被災された皆様に衷心よりお見舞い申しあげますと共に、いのちを失われた皆様、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。

教区では、誰もが安心して生活できるよう、一日も早い復興を願い、共に力を合わせて災害支援活動を継続してまいります。

合掌

寺院教化助成金交付詳細

◆寺院支援策を講じる年度
令和2年度並びに令和3年度の2ヶ年度

◆交付対象寺院
当該年度の教区賦課金を納付期間内に完納された寺院

◆寺院教化助成金額
当該年度の教区賦課金(寺院賦課金・僧侶賦課金)の15%

◆助成金交付に伴う財源
特別会計
鹿児島教区平衡資金会計

教区会議長就任にあたって

教区会議長 平川 眞英



皆様におかれましては、日々宗門寺門の護持発展にご尽力のこととお慶び申しあげます。

このたび、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期となつておりました臨時教区会を6月17日に開催するため、森田教務所長より教区会議員の招集がございました。臨時教区会開催に伴い実施された教区会議長選挙にて、教区会議長を拝命いたしました南隅組選出教区会議員平川眞英でございます。

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、多くの方々がお亡くなりになっておられますこと謹んで哀悼の意を表しますとともに、懸命に治療・対策にあたられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の方々に深く敬意と感謝を表します。

さて、教区内においても新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、年度当初より会議及び研修会が延期もしくは中止となり、各寺院においても同状況下にある中、感染症対策をしっかりと行い、”出来ることから始めよ

う”と多方面から模索し、伝道教化に務められておられることから、教区会においても教区内寺院への協力体制等を議論して参りたいと存じます。

次に、教区護持口数の調整が令和3年度に教区護持口数調査調整委員会にて審議されます。護持口数調査調整委員会に対し、過疎過密に伴う地域経済格差等を視野に入れ、検討いただくよう申し入れをいたしたいと考えております。

最後に、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が2023(令和5)年にご本山において修行されます。教区では、本山への団体参拝や、教区・別院における慶讃法要についても、昨年度の定期教区会にて承認された、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要事務所設置規則に基づき、法要委員会と協議を重ねて参りたいと存じます。

教区会議長という責務を全うするため、一意専心いたしますのでご協力の程よろしくお願ひ申しあげます。

組長代表就任にあたって

組長代表 正覺 智成



鹿兒島教区前組長代表の片岡哲英先生の後任として組長代表を拝命いたしました正覺智成と申します。四年間の任期ではありますが、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度末から新型コロナウイルスにより、お寺や組の活動も制限されて、中止、延期となっております。それにより、お寺の在り方、教化体制、会議に至るまで今までと違った発想で、ご寺院内、組内、そして教区内でも取り組まざるを得ない状況となっております。その地域によって考えられることは違つてくるのは当然であり、英知を絞つて新たな取り組みをしていかなければならないことです。

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の「総合基本計画」や重点プロジェクトの基本計画が、本年度から一部改定されました。専らご門主がご親教の中で『念仏者の生き方』をお示しになられ、さらに『私たちのち

かい』として平易な取り組みをご教示くださいました。来る2023(令和5)年にお迎えする親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて日常の生活に密着した取り組みをしてほしいという願ひが込められています。

私の組ではまだ実践運動が活発化していないのが現状ですが、コロナ禍の中でも今までと違った視点で考えさせられることが多々あります。私たちの寺院や組の取り組みも、それぞれの地域で異なることは当然であり、実践は異なつていても目標は共通しています。

宗祖の名著『教行信証』には「濁世の道俗、善く自ら己が能を思量せよとなり。知るべし。」と記されています。自分の能力ではなく、濁った世の中で本當のこの世を見る眼を養いなさいと仰っているのです。わたくしたちも心して実践運動を取り組んでいきましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

「伝わる」ということ

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
中央委員 福嶋 達也

宗祖は、「伝わる」ということについて、「大悲、弘くあまねく化する」をもって表現される。『往生礼讃』の「大悲・弘・普化」を、『礼讃』の異本から「大悲・弘・普化」の文言として引用（『本典』信巻・化巻）することによって、「衆生が大悲を伝えて人々を救う」の意味から、「大悲それ自身が、弘くあまねく人々を救う」ことに、「伝わる」のダイナミクスを開示されたとは私は領解している。私が「伝える」の構えから、如来の大悲が私に「伝わる」ことによる私（たち）の変容が「自信教人信」であると。以上は、「宗務の基本方針」が「伝わる伝道」であることから調べ直してみたものである。

また、私は宗門・教区の実践運動を含む諸計画から二つの指針を学んでいる。縁起性（業論Ⅱ共業・不共業）と、一緒性である。縁起なる存在であるがゆえに、「自他ともに心豊かに生きていく」実践が可能なのわけであり、「いのちの関係性を一つならりに生きているという（一緒性）」（『宗報』2020年7月号25頁）が、私（たち）のあり方を明示するとともに、課題が明らかになる視点であると。種々のご教示を願いたい。

実践運動教区委員会副委員長

就任にあたって

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
副委員長 三島 慶昭

実践運動教区委員会副委員長を勤めさせて頂く事になりました、組長会副代表の三島慶昭（南隅組大円寺）です。よろしくお願いたします。

本年度は、今まで経験したことのないコロナ禍で、法要・法務をはじめ本来の寺院活動が出来ない状況の中で新年度を迎え、教区実践運動がスタートしました。「総合基本計画」では「今、私にできること」お法が伝わる寺院活動」との運動テーマのもと二つの実践目標があげられ、これを「同朋部門・寺院振興部門・次世代部門」を中心にした具体的施策が協議検討されますが、この状況下では運動推進も容易な事ではありません。しかしご門主のご消息に「ご法義の伝え方は、その変化につれて変わっていかねばならないでしょう。現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を結集する必要があります。」と述べておられる通り、コロナで大きく社会形態も変化するであろう今だからこそ寺院・門徒・僧侶が力を合わせて、この変化に対応しつつ、現場の声を聞き、未来に向けてのビジョン（課題）を皆で共有しながら、出来ることからひとつずつこの運動を進めて行けたらと思います。

重点プロジェクトリーダー

就任にあたって

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
重点プロジェクトリーダー 星野 元興

今年4月より、あらためて教区重点プロジェクトリーダーに任命されました星野元興です。宗派において「貧困の克服」をめざす「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を推進するために設置されたのが、この教区重点プロジェクトリーダーです。そして、今年度からは、各組にも組重点プロジェクトリーダーを設置し、宗派、教区、組が一体となり「貧困の克服」にむけて取り組んでまいります。

貧困の定義は、その地域によって変わります。また、家族ごとに置かれた環境は違います。そうした状況を鑑みれば、各地域に根をおろした寺院が、地域の実情に則した取り組みを推進すべきであると考えます。この各寺院での積極的な取り組みが、次世代の貧困の克服につながり、引いては寺院活動の継続につながるものと思います。

貧困の中、将来の夢さえも奪われる子どもたちがいること、その事実には何かしらの理由をつけて背を向けることは容易です。念仏者の願いが問われる活動です。

同朋部門長

就任にあたって

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
同朋部門長 藤原 徹

新型コロナウイルスへの不安等から、感染リスクを下げるのが唯一の「正しさ」であるかのような「空気が世の中を覆う現在、私にとって「念仏する」ことの意味が問われています。感染予防が必要だとしても、それが念仏者の課題ではないでしょう。

様々な人権侵害が起きている今、「正しさ」を呼び掛けることで責任感等を煽り、その結果市民の分断と排除に手を貸していないか見つめ直したいと思います。

八百年以上前「社会秩序を乱す」と弾圧を受けた念仏者達は、時代社会の「正しい」側に立っていたのではなく、生きづらさを強いられた人と一緒に救われることの意味を考えられました。しかし宗祖亡き後、教団の歴史を貫くものは時代社会への迎合でした。この国の過ちの歴史と教団の歴史は一致しません。そして、今、同じ過ちを繰り返していかないかの点検が必要だと思えます。今、宗祖が生きていたら何を語るのだろうか。私は「正しさ」に呑み込まれ、考えることをやめてないだろうか。念仏者としての課題とは何か問われています。

寺院振興部門長

就任にあたって

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
寺院振興部門長 井上 昌隆

教区実践運動が進めます寺院振興部門の部門長として就任をさせていただくこととなりました。現在教区実践運動では、同朋部門・寺院振興部門・次世代部門の推進に取り組みられています。

それぞれ役割の違いはありましても『御同朋の社会をめざす運動』において、同じ目的に向かって歩みを進めていくことには変わりはありません。

その趣きとなることを専らご門主が『念仏者の生き方』の中で「私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心にかなう生き方を目指し、精一杯努力させていたただく人間になるのです。」と、具体的な内容をもって方向を示して下さいと思っています。

それは『仏法を依りどころとして生きていくこと』と、私の進むべき道を顕かにされたことにあると考えます。今後も本部門において、これまで取り組まれた成果と課題を確認しつつ、更に実践運動の推進をより充実できるように努めて行きたいと思っています。

次世代部門長

就任にあたって

「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会
次世代部門長 櫻井 惇紀

次世代部門の部門長を務めさせて頂くこととなりました櫻井惇紀と申します。よろしくお願いたします。

私自身、次世代部門について今回初めて関わらせて頂く為、まだ分からないことも多くありますが、活動を進めていく中で学びを深め、取り組んでいきたいと思えます。

教区の各種連盟・団体におかれましては、これまでに多くのご縁づくりを行い、そして、成果を得たこともあれば、逆に難しい問題に直面したこともあると思えます。それらの経験や知識を相互に共有、相談する環境を作っていければと思います。

また、教区内寺院におかれましても時代のニーズに合った新しいご縁づくりの場や、積極的な情報発信を行っているところもあります。そうした活動事例を収集しながら、今までご縁のなかった人たちへのさらきかけを教区全体、それぞれの寺院で進めていく流れを作っていければと思います。

組長会 (組委員長会)

鹿兒島組	井上 博孝
揖宿組	宮地 円
南薩組	朝倉 文昭
川内組	加藤 信行
祁答院組	椋 法久
伊佐組	原田 康志
出水組	正覺 智成 (代表)
東隅組	白坂 浩史
南隅組	三島 慶昭 (副代表)
北隅組	岩切 順孝
南島組	田嶋 弘典

教区会議員

鹿兒島組	井上 從昭 (常備会員)
揖宿組	廣瀬 正人
南薩組	大石 大教
川内組	詫摩 純三
祁答院組	金倉 真也
伊佐組	茶屋 征夫 (常備会員)
南島組	下茂 孝一 (監査委員)
北隅組	岡田 晃昭 (常備会員)
南隅組	押川 丞輔
伊佐組	眞正 智教 (常備会員)

「御同朋の社会をめざす運動」 鹿兒島教区委員会

委員長	森田 順照 (教務所長)
副委員長	福嶋 達也 (中央委員)
常任委員	三島 慶昭 (組委員長会代表)
星野 元興 (教区重プロリーダー)	
藤原 徹 (同朋部門長・北隅組)	
井上 昌隆 (寺院振興部門長・川内組)	
櫻井 惇紀 (参代部長・葦原表・鹿島)	
中俣 保子 (仏婦代表)	
内村 玉樹 (仏壯代表)	
稲留 巽 (門推代表)	
千羽 顕信 (別院主幹)	
委員	佐藤留美子 (寺婦代表)
藤谷亜太可 (少年代表)	
佐々木哲生 (保育代表)	

委員	田中 愛美 (仏青代表)
瀧 義道 (揖宿組)	
清水 智 (南薩組)	
石神 龍遊 (川内組)	
内藤 宗保 (祁答院組)	
井手 弘誓 (伊佐組)	
植松 泰尚 (出水組)	
藤本 慈明 (東隅組)	
藤野 和人 (南隅組)	
高石 勝人 (南島組)	

組重点プロジェクトリーダー

鹿兒島組	藤善 義文
揖宿組	藤岡 義尚
南薩組	松元 正顕
川内組	石神 龍遊
祁答院組	井芹 顕真 (サブリーダー)
伊佐組	副 直子 (サブリーダー)
出水組	星野 元興
東隅組	暉峻 康明
南隅組	藤 清道 (サブリーダー)
北隅組	佐々木哲生
南島組	高石 勝人

伊佐組	小椎八重 猛
出水組	金倉 敬理
東隅組	本 正治 (副議長)
南隅組	濱上 正信 (監査委員)
北隅組	嶽野 廣一
南隅組	平川 眞英 (議長)
北隅組	安満 浩二
南島組	岩重 俊一
南島組	上戸 秀朋
伊佐組	山崎 順仁

2020 (令和2) 年度 鹿児島教区教務所 職員一覧



【賛事】
ほんだ じゅんせい
本田 淳誓
熊本教区
阿蘇組光雲寺

教務所
教務所経常業務把握
服務全般

実践運動
実践運動業務全般

教化団体
教化団体業務全般

外部団体
鹿児島県矯正事業後援会



【賛事】
つむら たくや
津村 拓也
和歌山教区
加茂組西福寺

教務所
経常職務全般、会計業務全般
教区会・常備会、護持口数調整委員会
賦課制度審議会・減免委員会
災害対策委員会、慶讃法要事務所
宗門総合振興計画、護持口数調査調整委員会

実践運動
実践運動業務把握

教化団体
本派矯正教化連盟
本派更生保護事業協会

外部団体
鹿児島県教誨師会、鹿児島「同」宗連



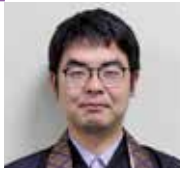
【主幹・主事】
ゆき いっせい
幸 一誠
鹿児島教区
揖宿組大光寺

教務所
地方選挙管理委員会
公職選挙推薦、寺院振興対策委員会

実践運動
実践運動職務全般
教区委員会・常任委員会
組正副委員長会
全体推進連絡協議会
重点プロジェクトリーダー

教化団体
仏教婦人会連盟、布教団

外部団体
光寿会



【主事】
てるおか やすのぶ
暉峻 康信
鹿児島教区
東隅組金剛寺

教務所
組長会
災害対策委員会補佐、願記

実践運動
同朋部門

教化団体
仏教青年連盟、勤式練習所
保育連盟補佐、門徒推進員連絡協議会

外部団体
靖国問題を考える宗教者会議
人権政策確立要求鹿児島県実行委員会



【録事】
ほんかわ ともき
本川 朋樹
宮崎教区
西諸県組願正寺

教務所
教区だより
公文書等発送管理

実践運動
寺院振興部門

教化団体
仏教壮年会連盟
寺族婦人会連盟

外部団体
教区懇談会
龍大校友会



【書記】
ひらと こうゆう
平戸 宏祐
大阪教区
豊島南組源福寺

教務所
敬弔関係
公文書等受信管理
台帳・目録管理

実践運動
次世代部門

教化団体
保育連盟
本派社会福祉推進協議会

外部団体
真宗教団連合鹿児島支部



【書記】
ふじしげ たいりょう
藤枝 泰了
宮崎教区
日南組浄念寺

教務所
得度講習会関係
備品管理、願記

実践運動
同朋部門補佐

教化団体
少年連盟、ビハーラ鹿児島
スカウトクラブ

外部団体
中仏通信教育・同窓会



【非常勤】
いわの ひろし
岩野 宏俊
鹿児島教区
東隅組恒覚寺

教務所
ラジオ放送

実践運動
次世代部門補佐

教化団体
寺族青少年連盟
門徒総代会
講社



【嘱託】
うちむら りつこ
内村 律子

教務所
会計職務全般
賦課金
教区会・常備会補佐

「令和2年7月豪雨」について

教区内寺院被害

- ・東隅組西光寺 本堂内雨漏り

教区内門信徒被害

(全戸人的被害なし)

- ・東隅組恒覚寺 門徒宅全壊
- ・伊佐組廣大寺 門徒宅床上浸水 4件

第5連区被害

(10月13日現在)

- ・福岡教区 4カ寺 ・大分教区 8カ寺
- ・佐賀教区 6カ寺 ・長崎教区 1カ寺
- ・熊本教区 12カ寺 ・本願寺人吉別院

鹿児島教区対応

7月7日

- ・東隅組恒覚寺 見舞金の給付
- ・本願寺人吉別院 見舞金の給付

7月8日

災害備品持参



本願寺人吉別院 河村輪番へ伝達

- ・東隅組西光寺 教務所長お見舞い
- ・本願寺タオル 20枚持参

7月18日

- ・熊本教区芦北組光明寺 (熊本教区指定災害備品受付寺院)

教区内よりいただきました災害備品を持参

8月3日

- ・伊佐組廣大寺 教区仏婦連盟お見舞い・見舞金の給付

◆その他、各組より支援物資等を直接被災地へ持参された旨ご報告をいただいております。

新型コロナウイルス感染症予防のため、人的派遣ができない状況にあります。が、被害にあった球磨組や人吉別院職員を中心に救援活動は続いております。

それに伴う、支援物資は随時受付されていますので、熊本教区や人吉別院にご連絡いただき、引き続き復興支援の程よろしくお願いいたします。

「台風10号」について

教区内寺院被害

・揖宿組大光寺

本堂瓦数十枚飛散・納骨堂窓ガラス破損・法務車両ガラス破損

・南薩組大願寺

境内複数倒木・掲示板破損

・西光寺

境内樹木倒木

・攝光寺

喚鐘落下・本堂屋根瓦破損

・淳厚寺

本堂屋根瓦・雨樋破損

・川内組西願寺

門徒宅数件瓦飛散

・正蓮寺

本堂戸袋・雨樋破損

・法昭寺

本堂瓦飛散・会館窓破損

・正浄寺

本堂横屋根一部破損

・西樂寺

本堂屋根瓦飛散・軒下破損

・法雲寺

本堂屋根瓦数十枚飛散・屋根破損・雨樋破損・全面雨漏り・境内複数倒木・雨樋破損・倉庫車庫全面破損

- ・南隅組光源寺 本堂屋根鉄柵破損
- ・北隅組圓乗寺 納骨堂へ倒木による瓦破損
- ・南島組大照寺 本堂屋根瓦数十枚飛散・本堂雨漏り

- ・報恩寺 本堂の雨樋破損
- ・浄真寺 本堂前下駄箱破損



教区内門信徒被害

- ・南薩組淳厚寺 門徒宅3件瓦破損
- ・出水組大昭寺 門徒1名死亡

鹿児島教区対応

9月8日

- ・揖宿組大光寺・南薩組攝光寺 お見舞い

9月10日

- ・南島組大照寺 お見舞い

9月11日

- ・川内組西願寺・正蓮寺・法昭寺

- ・正浄寺・西樂寺・法雲寺 お見舞い

9月12日

- ・出水組大昭寺 見舞金給付

鹿児島教区仏教青年連盟

今年度9月に予定されておりました、「全国真宗青年の集い 本山大会」は2021年10月頃に延期となりました。

教区仏青としては、これをチャンスと捉え、オンラインでの集いなどを企画し、来年度の全国大会に多くの方々にご参加いただけるよう企画を進めております。

鹿児島別院仏青が公式LINEを開設いたしました。主に毎月開催している【座】の情報などを発信しております。

有縁の青年層の方々にご周知いただき、ご登録のほどよろしくお願いいたします。

〈担当：暉峻〉



鹿児島別院仏青
公式LINE
QRコード



お経の勉強会(勤式講習会)

鹿児島教区勤式練習所では、毎月A・B・Cコースにわかれて、お経の勉強会を行っております。今年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、6月からのスタートとなりましたが、現在までに41名(Aコース20名・Bコース10名・Cコース11名)の方々に受講いただいております。

ご門徒さんはもちろんのこと、坊守さんや寺族の方々にもご参加いただいております。途中からのご参加も可能ですので、教務所までお問い合わせください。

Aコース【正信偈・阿弥陀経コース】

毎月8日予定
講師 中村 教生 (出水組 宝樹寺)

Bコース【三帖和讃コース】

毎月9日予定
講師 西藤 普照 (北隅組 正福寺)

Cコース【総合声明コース】

毎月10日予定
講師 佐藤 一暁 (揖宿組 光雲寺)

※開講日は月によって変わることがありますので、必ずお問い合わせください。

※参加費は1回1,000円とし、残り回数分を事前に頂いております。

〈担当：暉峻〉

「鹿児島教区仏教壮年会連盟 結成50周年記念大会」開催延期

令和3年2月6日(土)に開催を予定しておりました右記大会は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み令和3年6月26日(土)へ延期となりました。

詳細は、追ってお知らせいたします

教師授与

北 隅 性原 安満 秀法 R2.5.11
北 隅 性原 安満 秀法 R2.5.11

特別法務員

北 隅 幽栖 藤谷 蓮子 R2.3.25

布教使任用

南 隅 大円 三島 晃真 R2.5.1

住職任命

南 薩 大願 鎌数 知生 R2.3.30

住職退任

南 薩 大願 鎌数 知行 R2.3.30

敬 用

北 隅 憲徳 藤谷 賢一 R2.5.2
北 隅 憲徳 藤谷 賢一 R2.5.2

北 隅 正福 西藤 公生 R2.7.4
北 隅 正福 西藤 公生 R2.7.4

川内 法雲 井芹 大心 R2.7.10
川内 法雲 井芹 大心 R2.7.10

川内 真教 松下 安来 R2.8.14
川内 真教 松下 安来 R2.8.14

南 薩 大願 鎌数 知行 R2.9.13
南 薩 大願 鎌数 知行 R2.9.13

川内 願生 住職 亀田 教信 R2.9.21
川内 願生 住職 亀田 教信 R2.9.21

社推協特別協賛金

南 隅 大円 結婚祝 (敬称略)
北 隅 憲徳 香典返し (敬称略)